

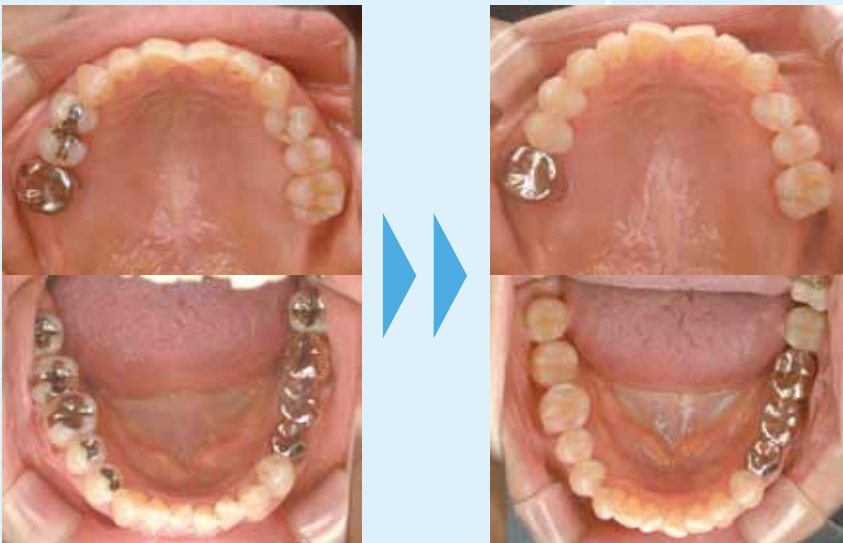
歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル
クリニック発



保険で行える白い歯-その2

患者A



患者B



前号の内容で問い合わせが多かったので、再び「保健で行える白い歯」の治療について説明させていただきます。左が治療前、右が治療後の歯の状態です。すべて当クリニックで行った**保険適用範囲内**での治療です。

患者Aの写真でわかるように、銀歯でも大きいものや連結されているものになると、白い詰め物(コンポジットレジン)での治療は行えません。全体を覆うものでなければ多くの場合治療が可能であり、患者さまの窓口負担も1本1000円以内で済みます。銀歯に比べて強度面では劣りますが、きちんと咬み合わせを調整したコンポジットレジンであれば簡単には壊れませんし、銀歯と同等の年数を使用することは可能です。

また、銀歯はコンポジットレジンに比べて歯を削る量が多く、さらに銀歯は適合が甘い(ぴったりと合わない)ために再びむし歯になりやすいというデメリットもあり、最終的に歳を取ったとき自分の歯が残っている可能性はコンポジットレジンのほうが高くなります。

患者Bの治療前・後の比較でわかると思いますが、銀歯での治療は銀歯の周囲に金属の色が透けて歯が黒っぽく見えます。コンポジットレジンを用いて治療を行えばこれを改善することができます。当クリニックでは、数色のコンポジットレジンで作り上げていく操作をするために治療時間がかかりますが、より綺麗な仕上がりになります。まずはご相談ください。

院長 小池秀行